

≡「こんな汚い処分なんか誰が許せるか!!」——もえ上る職場の怒り≡ 幕張支部職場集会(5/9)に110名結集!

日刊 動労千葉

80.5.14
NO. 427

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八一九・(公衆電話三三二七二〇七)

動労千葉で最大の組織人員を誇る幕張支部は、五月九日「不当処分粉碎・組織破壊攻撃粉碎」の職場集会を開催した。

集会には、動労「本部」反動分子が自己の四・一五津田沼スト破壊襲撃の事実を百八十度逆転させ、「動労千葉が襲撃した」と卑劣なデマをもつてこともあるうに国鉄当局に処分を要請する(四月十六日付「正式申し入れ書」という、許すことのできない反労働者の行為に怒りをもった支部組合員が続々と結集した。

集会開催時刻十二時には、会場の一階検修詰所に一一〇名が結集し、椅子に座りきれず、床に座りこむ状況の中で浅野支部書記長の司会によって開始された。

支部を代表して白井支部長は、「五・一支部代決定方針をうけて幕張支部は、不当処分粉碎、五月総行動の闘いの先頭に起つ」との静かな口調の中にも、闘いへの決意をこめたあいさつを行った。

三里塚、動労千葉の敵対者 「本部」反動分子弾劾!

動労千葉本部から出席した中野書記長、布施組織部長、林執行委員の三名を代表して布施組織部長があいさつに起ち要旨次の通りの闘争委員会の決意を提起した。

「イランへの米帝の人質救出を口実とする軍事侵略は、帝国主義が帝国主義として生き残るためには侵略戦争へうって出るしか延命の道はない」という決意の表われである。それは、本質的には帝国主義支配体制の崩壊をつげ知らせるものであり、労働者は今こそ反戦闘争に決起しなければならぬ

い。日帝・大平による軍事大国化攻撃に対し、今こそ労働者階級が闘いの先頭にたつことが問われている。南朝鮮・韓国の労働者学生は、朴なき維新体制の打倒、非常戒厳令粉碎をかかげて、新たな決起を開始している。われわれは南朝鮮・韓国労働者学生との連帯した闘いの視点を確立しなければならぬ。軍事大国化攻撃粉碎の要である三里塚闘争に敵対し、動労千葉の組織と闘いを、権力・当局の手を借りて破壊せんと乞い願う、『本部』反動分子を弾劾し、不当処分粉碎へむけ全力で決起しよう。

この提起を、全参加者は拍手をもって確認し不当処分粉碎の決意をさらにうちかため集会は成功裡のうちに終了した。

幕張青年部の決意

俺達は、動労革マル分子を絶対に許さない。「四・一五」スト破壊襲撃を行い、あまつさえ、俺達の仲間である吉野君に対し、投石をもって鼻骨折の重傷を負わせるといふ許しがたい暴挙を行ったことを絶対忘れはしない。そして動労革マル分子が襲撃に失敗するや、当局に「動労千葉を弾圧・処分せよ」とタレコミ、これをうけて当局が四・一五を口実とした処分を策動しているが、これは史上例のない汚い処分策動である。ならば俺達は、こうした処分を真向うから受けてたち、職場からのあらゆる手段を駆使して闘いに起ち上る決意だ。

五・一七↓五・二五三里塚の決起でかならず処分策動を粉碎するぞ。

「青年部全活」大成功。5月11・12日 館山・南房荘

青年部第二回全支部活動者会

第二日目は、午前中、動労千

議は、五月十一・十二日、館山 幕張支部中野書記長より、三時間南房荘において、開催され、連にわたって「労働運動の戦後史と八〇年代の課題」と題する講演が行われた。この講演の中で

第一日目は、軍事大国化!! 国は、今日、崩壊の危機におち入っている社・共既成労働運動の路線と指導の誤りが照らし出され、三里塚を軸とした動労千葉の闘いの教訓の中から八〇年代労働運動の路線が鮮明に提起された。

昼食をばさんで午後からは、三里塚反対同盟副行動隊長熱田